



今でも大里地域の人は、ウマチーなどの儀式で、うびー川から祈りを始めるそうです。別名のチョンチョンガーという意味は湧き水の流れる音と言われているそうです。

感謝
を込めて

嘉手志川 = 幸

嘉手志は、琉球方言で「幸」を意味するそうです。

その豊富な水量で、古くから地域へ幸せをもたらしたといわれています。

濡れた犬の伝説

昔、日照り続きで干ばつがひどかった時期に、雨も降っていないのに濡れた犬を住民が見つけたそうです。濡れた犬をみて、水がどこにあるのかもしれないと思った住民は、犬の後を追いかけて、その先で水のあるところを発見。それが嘉手志川だそうです。



地域の人々の憩いの場、ピクニックや水遊び、地域の生

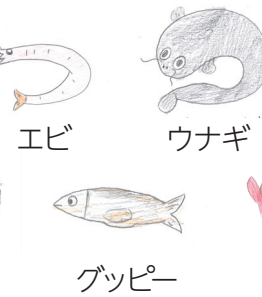


活用水、農業用水として利用。多くの人に親しまれている自慢の川です。

嘉手志川にすむ生き物たち

絵＝宮城屋来さん

エビは…テナガエビ！壁沿いの影から出てくる様子を発見。逃げるときは後ろにザザッと！



ウナギは、なかなか見ることができない…。朝方や夜、暗い時間帯だと見れるかも！

嘉手志川は、水が綺麗。すんでいる生き物にも注目です。



嘉手志川は水が澄んでいるので思ったより深くてびっくりすることも！遊ぶときは要注意！！



小さいころから友達と遊んでいた思い出のスポットです。夏になったら遊びにきてください。



嘉手志川が幸せという意味があると初めて知ることができ、家族に報告したらびっくりしていました。



深いところまで行くと、水の温かいところと冷たいところの境目がわかるので、遊ぶときは探してみてください。



嘉手志川を調べたことで、これからもきれいで皆が遊び続けられる場所であり続けてほしいと思いました。



嘉手志川は濡れた犬がきっかけで見つかったという言い伝えを知ってびっくりしました。

interview